

千秀だより

横浜市立千秀小学校平成31年(2019)4月5日

4月号



出会う

校長 富田 操

正門の桜の花が見事に満開となる中、新入生 39 名を迎え、全校児童 232 名で喜びと希望に満ちた平成 31 年度がスタートしました。

今年度も、子どもたちの一層の成長を目指し、教職員一丸となって千秀小学校の教育に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

4月 は学校にとって、新しい学年が始まる季節です。新しい学年が始まり、新しい出会いがあります。新しい友だち、新しい先生、そして、「新しい自分」との出会いがあります。

新しい学年が始まるということは、子どもたちが「新しい自分に出会うチャンス」でもあります。

人は生まれ変わって最初からやり直すことは、もちろんできませんが、新しい自分に出会い、新しい自分になっていくことはいつでも何度でもできます。この新学期のスタートというのは、子どもたちが、新しい自分に出会う最高のチャンスの一つだと思うのです。

「どんなことも、中途半端になってしまっていた・・・」自分。

「自分の考えや気持ちを、なかなか伝えられなかった・・・」自分。

「友だちについ意地悪をしてしまった・・・」自分。

新しい学年になったら、そんな今までの自分をリセットして「こんな自分になりたい」「こんな風に学校生活を過ごしていきたい」・・・今、そんな思いで胸をいっぱいにしている子どもたちが、たくさんいることと思います。

そんな前向きな希望にあふれた子どもたちの気持ちが現実のものとなっていくように、新しい自分になろうとする子どもたちを、千秀小学校の教職員全員で応援し、全力で支えていきます。

そして、それと同時に、「変わろうと努力している友だち」を認め、友だち同士お互いに温かく見守り合っていくことができるような関係づくりを支援していくことも学校の大切な役目だと思っています。

学校も、3年前に設定した「中期学校経営方針」が昨年度最終年を迎え、今年度より新しい中期学校経営方針へと見直しを行うこととなります。昨年度までの3年間の千秀小学校の成果と課題をふまえ、今まで培ってきた千秀小の良さを十分に引き継ぎながら、さらに改善・発展させていきます。

子どもたちと同じように、学校も教職員自身も、そして、私自身も千秀小の新しい校長としてこの桜の季節にリセットして、また新しい学校・新しい自分になっていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今まで千秀小が培ってきた長年の積み重ねを十分大切にしながら、子どもと共に新しく変わっていこうとする学校と教職員に、どうぞ今まで通りのご理解とご支援を賜りますよう、今年度もよろしく願いいたします。